

近畿日本鉄道 80000 系特急形直流電車



写真 1 外観

要旨

近畿日本鉄道株式会社(近鉄)では、大阪難波～近鉄名古屋間を約2時間で結ぶ名阪特急を運行しており、今回新たに、名阪特急としては2002年に製造した21020系車両以来の新造車となる80000系“ひのとり”を導入した。近鉄特急は、当社のブランドイメージの根幹であり、これまで以上にお客様にご満足いただくためには進化を続け、先駆的なサービスをご提供すべきであると考え、2013年に社内プロジェクトチームを立ち上げて検討を開始した。最終的には、「くつろぎのアップグレード」をコンセプトとし、都市間移動を担う特急として、ビジネス・観光をはじめ、様々な場面でのご利用を想定して、快適に過ごしていただける車内設備・サービス提供を重視した車両とした。

先進的でスピード感のあるエクステリアデザイン、上質感のあるインテリアデザイン、全ての腰掛に“バックシェル”採用、充実したサービス設備、インバウンド対応強化などによって、全てのお客様の体験価値向上を目指した。